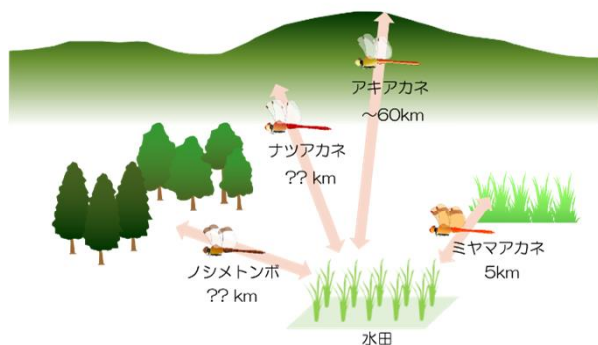


日本に生息する約200種のトンボのうち、半数以上が生息地に森林を必要とすることが分かっています。しかし、森林の中でトンボを見つけるのは難しく、森林とトンボの関係はよく分かっていません。本研究では、夏に森林を利用する赤トンボの個体数と周囲の森林面積との関係を調査し、赤トンボが夏に利用する森林の条件を推定しました。

① 里山の赤トンボの生息地利用



(初夏) 水田で羽化→(夏) 森林や草地へ移動
→(秋) 水田へ戻り、産卵

② 夏の間、ほとんど見つからない3種



これまでの観察記録・知見：

	夏 (7~8月)	秋 (9~11月)
アキアカネ	山頂に限って見つかる	低地の水辺に「大量に」現れる！
ナツアカネ	林縁で少ししか見つからない	なぜ、夏よりも圧倒的にたくさん観察されるのか？
ノシメトンボ		

森林での観察は難しく、どこにいるかも不明

③ 森林から出てくる個体数を数える



標高別の森林面積は、山麓の個体数を説明するか？

④ 麓での個体数を最もよく説明したのは…



山麓で観察された個体は、
種によって異なる標高帯の森林から
出てきた可能性がある

⑤ 個体数と正の関係にあった 標高帯の森林で、夏に多数の個体を発見！

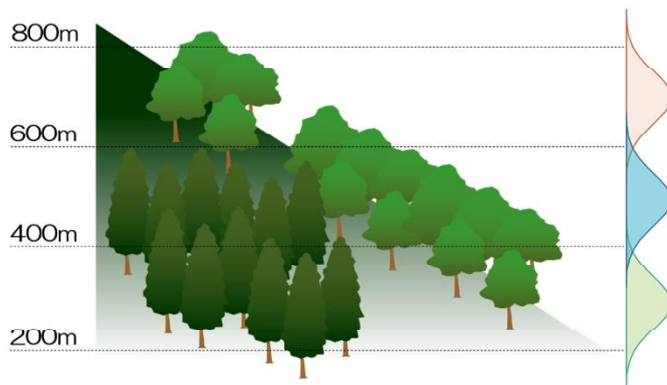


アキアカネ
・広葉樹林内
・標高692m地点
・30分でおおよそ20個体を確認
(2024年7月9日 岐阜県美濃市)



ナツアカネ
・広葉樹林内
・標高638m地点
・30分でおおよそ30個体を確認
(2024年8月9日 熊本県阿蘇市)

⑥ 夏はどのあたりに個体が多いのか？ —新たな仮説—



アキアカネ 山麓での個体数をよく説明した標高600-800mの森林がコアとなる生息地？
ナツアカネ 同様に、標高400-600mの森林がコアとなる生息地？
ノシメトンボ 同様に、標高200-400mの森林がコアとなる生息地？

(Higashikawa in preparation)